

広報いわむろ秘蔵写真館

29

写真は語る

わのう駅といわむろ駅(和納)

二つの駅舎が並ぶ珍しい写真ですね。この改築とともに駅名も「わのう駅」から「いわむろ駅」へ改称されました。(昭和40年12月)



(写真＝岩室村役場所蔵)

一枚の古びた写真が明らかにする思いがけない歴史(記録)の一角。みなさんの秘蔵写真を紙上公開します。お手元にあるとっておきの一枚を広報いわむろにお送りください。

●応募先＝〒953-01 岩室村大字西中860 岩室村役場 総務課 企画係
☎82-4111 内線201・202・215

あの国鉄(日本国有鉄道)からJRに変わって122日が過ぎましたが、今月は旧国鉄時代のわのう駅(現いわむろ駅)のつかしい写真をご紹介します。

この写真は昭和40年12月、いまのいわむろ駅舎を新築している当時の写真です。瓦屋根の建物が旧わのう駅で、その向こう側に建てられているのがいわむろ駅です。わのう駅はいわむろ駅より吉田側にあったんですね。当時はまだトラック輸送が現在のように普及していなかったためか、

荷物が改札口付近にたくさん積まれているのが、よくわかります。それにしても、わのう駅舎はいかにもって感じでなんとなく古き良き時代の雰囲気を出していますね。それこそ今は伝説となってしまった蒸気機関車を迎え、送り出した駅のためか、柱や屋根瓦はススで真っ黒。これが鉄道の駅だという感じで、すてきですね。ところで、ここにその蒸気機関車が写っていたら、マニアにうけそうな写真になっていたでしょうね。(総務課企画係)

今月の納税

村県民税 (第2期)

納期限は 8月31日です

●和納三区の大越功さんから「母トキさん」のご冥福を祈られ金十万円のご寄付がありました。
●日本海間瀬サーキット代表の嶋倉英夫さんからサーキット場オープンイベントの収益金八十二万三千七百七十七円のご寄付がありました。
●岩室の高島哲男さんから村勢振興のために金三十万円のご寄付がありました。
●東京都北区にお住まいの本田四郎さんから広報編集のために金二万円のご寄付がありました。
●神奈川県横須賀市にお住まいの柏木敏雄さんから広報編集のために金一万円のご寄付がありました。

善意をありがとう

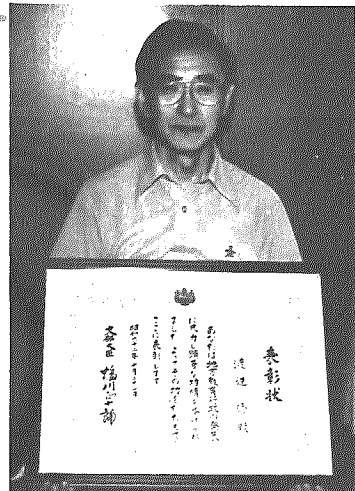


村教育委員長

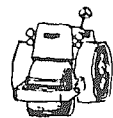
「地方教育行政功労者」

渡辺修さんが文部大臣表彰

先月二十二日、東京・日比谷公会堂で開かれた全国市町村教育長会議で、村教育委員会教育委員長の渡辺修さん(和納七区・63歳)が長年の教育行政推進が認められ「地方教育行政功労者」として文部大臣表彰を受けました。
渡辺さんは、ご存じのとおり内科医としても地域の医療発展に尽されているかたわら村教育委員長としても活躍しています。村教育委員は今年で三十二年です。この間、常に村教育行政の中枢として積極的に教育振興に当たってきました。また、持ち前のバイタリティーで未来を見通した洞察力と問題を的確にとらえ真っ正面からぶつかって対応しようとする真摯な態度で多くの難問を解決してきました。特に各種の悪条件の中で統合中学校(岩室中学校)実現のため努力したことは、本村教育環境の発展に大きな功績として記憶に残るところですね。
渡辺さん、文部大臣表彰おめでとうございました。



わたなべおむ 渡辺修さん (和納7区 63歳)



ただいま工事中

(入札結果から)

| 工事名・場所 | 工事費(万円) | 完了予定日 | 工事業者 | |
|-----------------|---------|-------|-------|----------|
| ●村道関係 | | | | |
| 岩室金池線法面改良工事(岩室) | 91m | 730 | 10/21 | ロック防災工業㈱ |
| 角海線改良工事(樋曾) | 140m | 320 | 10/11 | ㈱ 梨本組 |
| 岩室金池線舗装工事(石瀬) | 307m | 540 | 9/21 | ㈱ 水倉組 |
| 岩室金池線舗装工事(石瀬) | 145m | 355 | 9/21 | ㈱ 吉田建設 |
| ●その他 | | | | |
| 田ノ浦温泉配管設備工事(間瀬) | 1,460 | 10/3 | | 研冷工業㈱ |



新刊図書

ビジネスマンの父より息子へ30通の手紙(新潮社)
早坂茂三の〈田中角栄〉回想録(小学館) 破帽と軍帽(恒文社) 堀の中のプレイボール(講談社) さよならもいわないで(新潟日報事業社) 秋色[上・下](文芸春秋) 暗い血の旋舞(日本放送出版協会) 歌と饒舌の戦記(新潮社) 日本農業大改造論(祥伝社) 新潟県樹木図鑑(新潟日報事業社) 勇魚[上・下](文芸春秋) パーフェクトスパイ[上・下](早川書房) 新鬼平犯科帳・炎の色(文芸春秋) 極東セリナーデ[上・下](朝日新聞社) 恐慌が迫る(講談社) 最後の超念力(ダイナミックセラーズ) 猛き箱船[上・下](集英社) 戦場の人間学(祥伝社) 極道渡世の素敵な面々(祥伝社) パタゴニア(情報センター出版局) やり過ぎた殺人(光文社) 日本経済本当はどうか(PHP研究所) あたしの脇役人生(新潮社) 第六折々のうた(岩波書店) チョーク色のピープル(角川書店) 日出る国の工場(平凡社) 宗教心の活かし方(祥伝社) 東京地下鉄殺人事件(読売新聞社) 蒼の病層(徳間書店) 風牌は哭いたか(双葉社) キャンパス秘探探偵団(勁文社) あさかせ1号殺人事件(勁文社) みちのく殺意の旅(文芸春秋) オヤジとわたし(集英社) 腰痛苦しんだのが嘘みたい(青春出版) 医者からもらった薬がわかる本(白馬出版) プロ野球この秘密事項を知ったら100倍面白い(青春出版)

道がつなぐ街と人

時代とともに変化する道——人や馬だけが通った道から、何トンもある車が通る道へ——現在は、日本列島を縦横に走り、以前にも増して道路がわたしたちの生活に欠かすことのできないものになっていきます。
八月は「道路をまもる月間」。また、八月十日は「道路の日」です。この機会に、ふだん見過ごしている道路の役割に目を向けてみませんか。

